

「令和5年度第5回環境影響評価審議会総会」(本日開催)における報告内容について

神宮外苑地区まちづくり(以下「本計画」という。)につきまして、本日の環境影響評価審議会総会(以下「審議会総会」)において、本計画の「事後調査報告書(工事の施行中その1)」の受理報告が行われましたので、以下の通りご報告します。

事後調査報告書の内容について

神宮外苑広場(建国記念文庫)及び神宮第二球場の移植対象樹木に関し、「根回しおよび養生の状況」、「仮移植計画」「いちよう並木の根系調査の状況」等について報告いたしました。

(1) 根回し及び養生の状況

今回、神宮外苑広場(建国記念文庫)及び神宮第二球場の移植対象樹木について根回しを行い、実施に際しては、根周り周辺を掘削し、樹木医の立ち合いの下、必要に応じて環状剥皮の実施、発根促進剤や癒合材の塗布、畦シートの設置等の処置をした上で埋め戻しを行いました。

養生の状況については、根回し後に根鉢上に稲ワラにてマルチング、養生を行うとともに、灌水を週2回実施し、これにより、根鉢周りの乾燥を防ぎ、夏季の温度調整を行います。また、除草を適宜実施するとともに、巡回についても週2回実施しております。



写真 1-1 掘削の状況



写真 1-8 巡回の実施状況

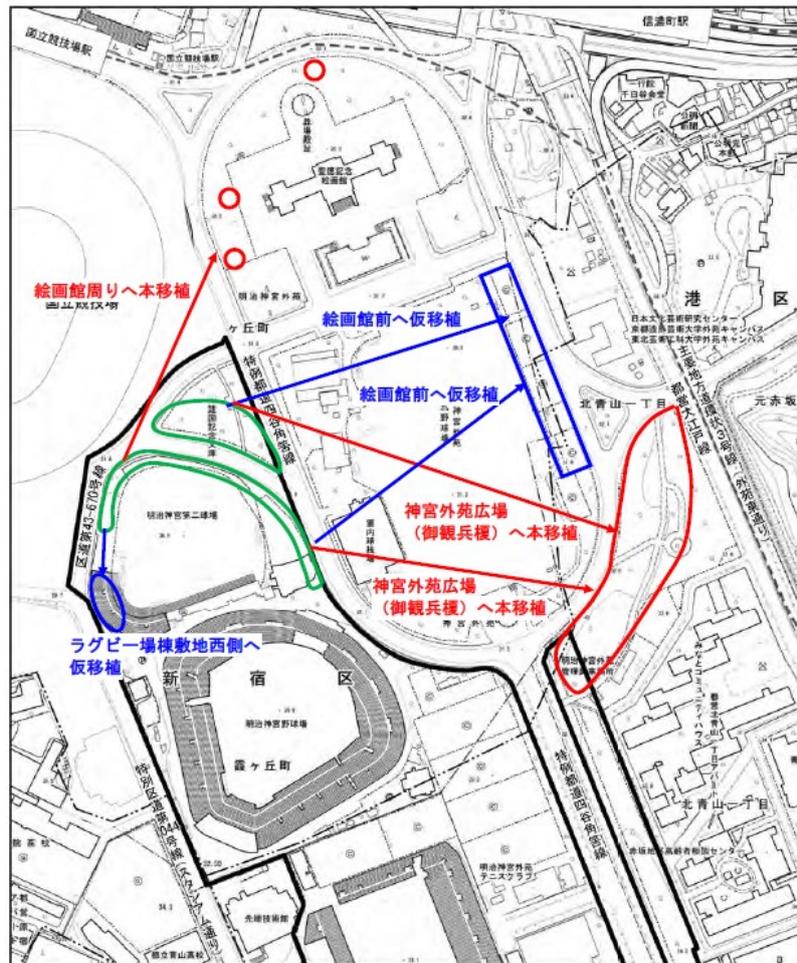
※令和5年7月事後調査報告書(工事の施行中その1)より抜粋

(2) 仮移植計画

神宮外苑広場(建国記念文庫)で根回しした樹木については、絵画館前へ仮移植を行うとともに、神宮外苑広場(御観兵榎)へ本移植する計画です。また、神宮第二球場周辺で根回しした樹木については、ラグビー場棟敷地西側へ仮移植するとともに、神宮外苑広場(御観兵榎)及び絵画館周りへ本移植する計画で、移植に適した時期に行う計画です。仮移植先の土壤環境についても植栽基盤として最適な土壤環境を創出する予定です。

移植樹木の管理においては、灌水と合わせて除草を行うとともに、樹木医による毎年度のモニタリング（活力度調査）や、樹勢に変化がみられた場合の病虫害防除や液肥等の施用を実施し、その状況について事後調査報告書で報告いたします。

仮移植の実施及び場所については、落葉樹は2023年10月頃から2024年3月頃、常緑樹は2023年9月～11月頃及び2024年3月～6月頃の移植に適した時期に絵画館前やラグビー場棟敷地西側に仮移植を行うとともに、本移植についても神宮外苑広場（御観兵榎）及び絵画館周りにて実施する計画です。



※令和5年7月事後調査報告書（工事の施行中その1）より抜粋

(3) いちょう並木の根系調査の状況

根系調査を実施できた範囲では、全地点で評価書本編記載の考え方に示す、環状剥皮の目安となる「10 cmメッシュ内に直径30 mm以上の根が4本以上ある」箇所は見つかりませんでした。コンクリート塊や石礫、塩化ビニル製パイプが出現したことなどから、地点を増やすなど徹底した調査を引き続き実施してまいります。

今後も継続する根系調査の結果や樹木医の見解を踏まえ、野球場棟のセットバックなど、いちょう並木を確実に保全するために必要な施設計画の見直しに取り組んでまいります。

以上